

<橋野高炉跡及び関連遺跡>

橋野鉄鉱山&鉄の魅力を語る!

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として、ユネスコ世界遺産登録を目指す「橋野鉄鉱山」(橋野高炉跡及び関連遺跡)。橋野鉄鉱山や周辺の見どころ、関わる人々の熱い思いを、「かまとら目線」で紹介します!

▼「橋野鉄鉱山惣御山内略図」(釜石製鉄所 所蔵)

橋野高炉跡には3基の高炉が確認されており、絵巻中の南(右側)から一番、二番、三番高炉と呼ばれている。

「近代製鉄の父」と呼ばれる大島高任(たかとう)の指導によって安政5(1858)年に建設された仮高炉が三番高炉。

一番、二番はその後、安政6年に田鎖仲と田鎖源治が橋野の吟味役専任として就任し、万延元(1860)年か翌年に完成した。

今、橋野が熱い!



たかとうくん

当時の様子を描いた古い絵巻より



当時の様子に思いを
馳せつつ……
高炉の石組みが残る
現在の様子



三番高炉



二番高炉



一番高炉



▲「湯口前働之図」(出銬状況)
(釜石製鉄所 所蔵)

ここは栗橋地区、そして釜石の宝。地域としても保存と管理をしっかりしていきたい。

正直などろ、はじめから高炉跡に行くのでは、そこに詰まったロマンは感じにくいと思います。ぜひインフォメーションセンター*に立ち寄り、少しでも知識を深め、雰囲気を感じてから行ってほしいですね。またここは自然豊かな地域。春は桜、秋は水車まつり、冬は雪がいっぱい降るのでソリすべり大会など、地域の特徴を活かしながら、地域全体を盛り上げていきたいです。近くには瀧澤神社の奥の院、古里の御神楽スギなど魅力あるところがたくさんありますので、ぜひあわせてお立ち寄りください!



橋野町振興協議会 会長／菊池成夫さん

「ここを〈桜の里〉に」と、今年4月芝生広場や高炉跡に続く市道沿い、和山高原、青ノ木集落などに桜が植樹された



三番高炉から東方面にある
石割桜▶

* 橋野鉄鉱山インフォメーションセンターでは「明治日本の産業革命遺産」や「橋野鉄鉱山」などの映像も観られる

